

令和5年度 地域づくり海外調査研究事業調査報告書

イギリスに学ぶ持続的なコンテンツツーリズム

調査地：イギリス

調査日：令和5年9月10日～9月18日

一般財団法人地域活性化センター  
企画・人材育成グループ 川口 峻平

## 目次

1. はじめに	1
2. 調査背景	1
(1) 鳥取県の現状	
(2) 調査の目的	
3. 調査地の選定	4
4. 調査概要	5
(1) 調査事例1 ウィンダミア	
(2) 調査事例2 ロンドン	
5. まとめ	11
(1) 地域固有資源の活用	
(2) 寄付制度	
(3) 空間作り	
6. おわりに	13
7. 参考文献・参考資料	14

## 1. はじめに

日本の観光産業は、旅行業、旅行業者代理業、ツアーオペレーター（ランドオペレーター）と呼ばれる宿泊施設・食事・交通手段等の手配業、添乗サービス業、ホテル・旅館等の宿泊業のほか、運輸業、娯楽施設、小売店・飲食店、製造業など非常に幅広い分野に及び、広範な経済波及効果や雇用誘発効果が期待される。<sup>1</sup>

令和元年の旅行・観光消費は、生産波及効果 55.8 兆円、雇用誘発効果 456 万人に上った。観光産業は裾野が極めて広く、日本の基幹産業へと成長するポテンシャルを有する。観光産業の付加価値を示す観光 GDP は、同年において GDP の約 2% であり、今後、官民一体となって観光産業の付加価値を更に高め、より「稼げる」産業へと変革を進めていく必要がある。<sup>2</sup>

そのためには、観光の潮流を読む必要がある。最近の観光客は未開拓の自然資源、日常的生活文化、人々や生き物との交流・触れ合いといった実体験を求める旅行や、健康回復等の特別な目的を付加した旅行を好むようになってきている。また、ポストコロナ時代に対応した新しい旅行スタイルも求められている。こうしたことから、観光の潮流は従来の集団型、通過型の観光から、個人型、体験学習型、交流型、滞在型の観光へとシフトしつつある。<sup>3</sup>

その新たな観光の一つにコンテンツツーリズムが挙げられる。コンテンツツーリズムとは、映画、テレビドラマ、アニメ、ゲーム、音楽、漫画、雑誌、小説などの情報作品の舞台を訪れる観光である。コンテンツツーリズム学会では、「地域に、『コンテンツを通じて醸成された地域固有のイメージ』としての『物語性』『テーマ性』を付加し、その物語性を観光資源として活用することである」としている。

近年はアニメ作品の舞台や背景となった場所をファンたちが訪れる「アニメ聖地巡礼」の流行もあり、コンテンツツーリズムは社会的な注目を集めている。<sup>4</sup>

## 2. 調査背景

### (1) 鳥取県の現状

#### ①概要

筆者の派遣元である鳥取県は、総面積が約 3,000 km<sup>2</sup>で、東西約 120km、南北約 20~50km という東西にやや細長い県である。北は日本海に面し、鳥取砂丘をはじめとする白砂青松の海岸線が続き、南には中国地方の最高峰・大山をはじめ、中国山地の山々が連なっている。

山地の多い地形ながら、3つの河川の流域に平野が形成され、それぞれ鳥取市、倉吉

市、米子市が流域の中心都市として発達している。気候は比較的温暖で、春から秋は好天が多く、冬には降雪もあるなど、四季の移り変わりは鮮やかである。また、台風などの自然災害が少なく、気候条件に恵まれていることから年間を通して観光に適した地域と言える。

人口は約 53 万 7 千人(2023 年 10 月時点)で最も人口の少ない都道府県である。国立社会保障・人口問題研究所によると、2045 年には 45 万人を下回ると推計されている。

## ②鳥取県のコンテンツツーリズムに関する現状・取組

2021 年における鳥取県への観光入込客は、実人数 629 万 2 千人(延べ人数 1,235 万 2 千人)で、鳥取県では、鳥取砂丘や豊富な山海の幸、温泉など、多様な観光資源を活かした観光戦略を進めている。そして、当戦略の一つに「まんがを生かした観光誘客の推進」を挙げている。

鳥取県は、「ゲゲゲの鬼太郎」の水木しげる氏、「遥かな町へ」「父の暦」の谷口ジロー氏、「名探偵コナン」の青山剛昌氏をはじめとする多数の著名な漫画家を輩出している。

その強みを活かし、水木しげる氏の出身地である境港市では、ゲゲゲの鬼太郎のキャラクターのオブジェや店舗、施設などが立ち並ぶ「水木しげるロード商店街」を 1993 年から観光地として売り出している。

ゲゲゲの鬼太郎とは妖怪をテーマにした水木しげる氏の代表漫画作品で、1967 年に週刊少年マガジンで連載が開始された。翌年の 1968 年から 2020 年 3 月までに 6 シリーズがテレビアニメとして放映されている。また、実写映画化や舞台化、そして、水木しげる氏の妻である武良布枝さんの自伝「ゲゲゲの女房」を原案にしたドラマが 2010 年に放映されるなど、50 年以上に渡り幅広い年齢層から人気を博している作品である。

ゲゲゲの鬼太郎を活かした水木しげるロードは、境港駅から水木しげる記念館まで続く 800 メートルの道路であり、作中に登場する 177 体の妖怪のオブジェが並ぶほか、妖怪グッズや妖怪を模した食べ物、お土産を販売する店舗などが立ち並んでいる。また、夜間には妖怪の影絵の照明が投射され、オブジェのライトアップもされるなど、昼夜を問わず楽しめる観光地となっている。

これらの取組により、水木しげるロードの観光客数は 2004 年の 779,364 人から 2010 年には 3,724,196 人へと 5 倍近く増加した。

また、青山剛昌氏の出身地である北栄町では、「名探偵コナンに会えるまち」として名探偵コナンの世界観を体感できるまちづくりを平成 9 年から行っている。

名探偵コナンとは、主人公が事件解決に挑む推理漫画で、1994 年から週刊少年サンデーで連載が開始された青山剛昌氏の代表作である。1996 年から現在(2023 年 11 月時点)までアニメが放映され、映画は 1997 年から 2023 年までに 26 作品が上映された。コミックスは全世界累計 2 億 7000 万部を突破するなど、国内外の老若男女から人気を博す作品であ

る。

北栄町では名探偵コナンを活かし、コナン通りと呼ばれる道沿いにはキャラクターのオブジェが点在し、作中に登場する喫茶店「喫茶ポアロ」、名探偵コナンの世界観を体験できる施設「青山剛昌ふるさと館」などを設置している。また、推理漫画である強みを活かし、「謎解きゆらゆらまちウォーク」として地域内で謎解きをしながら町歩きをする周遊の仕掛けも施している。

これらの取組により、「青山剛昌ふるさと館」の来館者数は2015年の108,134人から2019年には219,811人へ倍増した。また、海外の来館者数も2015年の9,432人から、2019年には19,350人へ約1万人増加するなど、多くの観光客を集める観光スポットとなっている。

鳥取県でも漫画を活用したまちづくりに着目し、2012年に「第13回国際マンガサミット」を誘致し、米子市で開催した。これを契機として、まんがを活用した元気な鳥取県づくりを目指し、2012年を「まんが王国とっとり」建国の年と位置づけた。初夏から秋にかけて県内各地で「国際まんが博」を、その翌年の2013年には「まんが博・乙」を開催した。

## (2) 調査の目的

県、市、町が漫画を活用した地域づくりを進める中で、課題となるのが持続性である。コンテンツツーリズムは一般的に、そのコンテンツが登場してから月日が経つほど、観光客の数は減少していくと考えられている。例えば1995年に富良野市に開館した「北の国から資料館」は、最盛期には最大9万人の年間来館者数を誇ったが、徐々に来館者数は減少していき、2016年8月末には閉館に追い込まれた。このように、どんなに人気を博したコンテンツであっても、いつかは人々に忘れられていき、コンテンツツーリズムを行う者も減っていく。その結果、コンテンツツーリズムでにぎわった観光地も観光客の減少に伴い、施設を維持できずに閉鎖に至ってしまうのである。<sup>5</sup>

これは水木しげるロードでも同様の現象が起きていると言える。水木しげるロードの入り込み客数とアニメ・映画・ドラマの放映を比較してみると、図1のようにアニメ・映画・ドラマが放映された年は観光客数が増加し、反対に放映が終了すると観光客数が減少することが分かる。特にテレビドラマ「ゲゲゲの女房」の放映された2010年と放映終了5年後の2015年では観光客数が約半減しており、メディアでの放映が観光客誘致において重要な要素であると言える。しかし、メディアでの放映が永続される保証はないため、メディア放映がない場合においても継続して観光客を集める手法を取り入れていく必要がある。

そこで、当調査ではコンテンツツーリズムにおける持続的な観光集客の手法について学び、鳥取県で持続的なコンテンツツーリズムを実現する方法を提案することを目的とする。

年	メディア放映	年間入込客数(人)
2004		779,364
2005		855,207
2006		926,909
2007	アニメ第5シリーズ、実写映画第1作	1,478,330
2008	アニメ第5シリーズ、アニメ映画第8作、実写映画第2作	1,721,725
2009	アニメ第5シリーズ(3月まで)	1,574,710
2010	テレビドラマ「ゲゲゲの女房」	3,724,196
2011		3,221,428
2012		2,705,156
2013		2,836,529
2014		2,319,537
2015		1,971,949
2016		2,146,545
2017		2,041,235
2018	アニメ第6シリーズ	2,743,674
2019	アニメ第6シリーズ	3,009,195
2020	アニメ第6シリーズ(3月まで)	965,734
2021		736,893
2022		1,014,754

図1 水木しげるロード年間入込客数とメディア放映の比較  
(境港市内 観光客入り込み状況を基に筆者作成)

### 3. 調査地の選定

調査地グレートブリテン及び北アイルランド連合王国(以下「イギリス」という)は、イングランド、スコットランド、ウェールズ、北アイルランドの4つの国で構成される島国である。場所はヨーロッパの北西部に位置し、面積は24.3万km<sup>2</sup>(日本の約3分の2)、人口は6,708万人(2020年時点)である。

イギリスは、「ピーターラビット」、「くまのプーさん」、「不思議の国のアリス」、「ピーターパン」など絵本・児童文学から誕生したキャラクターの舞台地や、世界的に有名な映画ハリーポッターの舞台地など、数多くの2次元作品等のコンテンツ



イギリスの位置図  
(外務省 HP より引用)

を有し、それらコンテンツを活用したツーリズムの先進地である。

コンテンツ終了後においても継続的に観光客を集め続けるイギリスにおいて、その手法を学ぶことで、鳥取県における持続的なコンテンツツーリズムにつなげるためのヒントを得ることを目的として調査を実施した。

## 4. 調査概要

### (1) 調査事例1 ウィンダミア・湖水地方

ウィンダミアは、イングランド・カンブリアのサウス・レイクランド地区にあり、人口は8,245人で、湖水地方の南部に位置する。湖水地方は、16の湖と500以上の池があるイギリスで最も美しい風景と言われる国内最大の国立公園である。手つかずの自然と、牧羊など古代から続く人の営み、それらが織り成す湖水地方の文化的景観が評価され、2017年に世界文化遺産に登録された。

湖水地方は、ピーターラビットと深いつながりがあり、ピーターラビットを目的に多くの観光客が訪れる地である。ピーターラビットはイギリス出身の作家ビアトリクス・ポター<sup>1</sup>の作品でウサギが主人公の絵本シリーズの総称である。1902年に発行され、シリーズの累計発行部数は2億5000部を超え、全世界で人気を博している。

ビアトリクス・ポターはロンドン出身であるが、幼少期に湖水地方を何度も訪れ、その美しさをとても気に入り、ピーターラビットの舞台とした。

そして、自己資金を使い湖水地方の土地や農場を買い続け、計1,700haを超える土地を手にした。その土地をイギリスのナショナルトラスト<sup>\*1</sup>に寄付をしたことで、現在まで自然環境が守られている。

この自然とともに、湖水地方にはビアトリクス・ポターやピーターラビットに関する施設が数多く存在している。以下①～⑩は各施設の詳細である。

#### ① ビアトリクス・ポターの世界

ビアトリクス・ポターの絵本の世界を再現したアトラクション施設である。絵本に登場するキャラクターや建物等の立体模型、ムービーシアター、カフェ、ビアトリクス・ポター生前に湖水地方で生息していた植物だけで作られた植物園などがある。

#### ② ヒルトップ

---

\*1 ナショナルトラスト（国民環境基金）活動とは、寄付金、会費などを集めて土地や建物を買収したり、寄贈を受けたりして、貴重な自然や歴史的に価値のある建物などを守っていくとする活動。1907年に、ナショナルトラスト法が制定され、それまでの会社法に基づくものから、新たに法律の保証のある「信託」によるナショナルトラストになった。この法律で保存の対象となる資産を「譲渡不能」と宣言する権利が与えられた。

1905年ビアトリクス・ポターが最初に購入した農場で、現在はナショナルトラストにより一般公開されている。

### ③ ビアトリクス・ポター・ギャラリー Beatrix Potter Gallery

ビアトリクス・ポターの夫ウィリアム・ヒーリス氏の弁護士事務所だった建物が現在はナショナルトラスト管理にて、ポターさんの原画が展示されているギャラリーとなっている。作品の状態を保つため、展示テーマを毎年決めて、作品を入れ替えている。

### ④ レイカッスル

ビアトリクス・ポターが子供の時に初めて湖水地方で休暇を過ごした際に滞在した場所である。ゴシック様式を模した城のような建物で、ウィンダミア湖畔にあり現在はナショナルトラスト管理のもと一般公開されている。

### ⑤ アーミット・ミュージアム&ライブラリー

キノコの水彩画約300点など多くの作品が展示されたミュージアム&ライブラリーで、個人所有の自費出版ピーターラビットのおはなし初版などを遺贈寄付されている。また、ビアトリクス・ポターの展示もある。

### ⑥ リンデス・ハウス

ビアトリクス・ポターが母のために購入したウィンダミア湖畔から近い邸宅である。現在はホテルとなっており、ビアトリクス・ポターのファンが宿泊する場所として選ぶことも多い。

### ⑦ ユー・ツリー・ファーム

コニストンエリアにあるビアトリクス・ポターが購入した農場の一つで、現在はナショナルトラストが管理している。農場で育てたハードウィック・シープを直接販売しているほか、ハードウィック・シープについて学び、触れ合うことのできる「ハードウィック・エクスペリエンス」が人気となっている。

### ⑧ リングホーム

北湖水ダーウェント湖畔にある邸宅で、ポター一家が約10回休暇で過ごした場所である。現在は貸別荘になっており敷地には宿泊者だけが入ることができる。「ピーターラビットのおはなし」に登場するキャラクター「マクレガー」の畑は、ここのキッチンガーデンから影響を受けていると言われている。2016年にウォールド・ガーデンとカフェがオープンし、ウォールド・ガーデンにはビアトリクス・ポターに関するパネルが設置された。訪れた人はそのパネルを読みながら見学することができる。

### ⑨ ジェティー・ミュージアム (汽船博物館)

ウィンダミア湖を中心に使用されたボートの展示があり、その歴史などについて学ぶことのできる博物館である。ビアトリクス・ポターがニアソーリー村近くのモス・エクレス湖で使用していたボートが展示されている。ここでは、実際にボートに乗ることができ、ビアトリクス・ポターが見た景色を楽しむことができる。

## ⑩ その他

ビアトリクス・ポターが購入した土地や農場近くを通るフットパスでのウォーキングなどが可能である。



ビアトリクス・ポターの世界  
(筆者撮影)



ヒルトップ  
(筆者撮影)



レイカッスル  
(筆者撮影)



ジェティー・ミュージアム  
(筆者撮影)

これらの豊かな自然やピーターラビット、ビアトリクス・ポターの施設等を活かした湖水地方の観光行政を担っているのが、カンブリア観光局である。

今回の視察では、カンブリア観光局のフランシーヌ・ブルト氏、湖水地方における日本向けの観光振興を担う湖水地方ジャパンフォーラム会長のコリン・フォックス氏、「ビアトリクス・ポターの世界」の最高執行責任者ステイシー・マクシェイン氏から話を伺った。

カンブリア観光局、湖水地方ジャパンフォーラムでは、ビアトリクス・ポター及びピー

ターラビットは湖水地方にとってのユニークセーリングポイント<sup>※2</sup>であると捉え、湖水地方の3つのマーケティングの柱とリンクできることから3つの柱と関連させての観光戦略が展開されている。

湖水地方の3つのマーケティングの柱は①アウトドア・アドベンチャー（ファーム・エクスペリエンスやビアトリクス・ポターをテーマにしたウォーキングトレイル）、②フード&ドリンク（ピーターラビットをテーマとしたアフタヌーンティーをホテルなどで楽しむことができる）、③カルチャー（ミュージアムやエキシビション、ヒルトップ）である。

ピーターラビットというコンテンツ単独で観光戦略を組むのではなく、その地域にある自然、文化、食などと組み合わせることによって、ピーターラビットというユニークセーリングポイントを活かしながらピーターラビットやビアトリクス・ポターの世界を体験できるようになっている。

例えば、ビアトリクス・ポターの世界では、ピーターラビットの着ぐるみがアフタヌーンティーを提供してくれたり、植物園でピーターラビットに登場する植物の匂いを嗅がせてくれたりなど、観光客がピーターラビットの世界を自然や食と組み合わせながら体験できる空間づくりを行っている。

また、ジェティー・ミュージアムではビアトリクス・ポターが当時乗っていた船や写真を展示し、ビアトリクス・ポターが楽しんだウィンダミア湖のクルージングを実際に体験できるようになっている。

このように、コンテンツだけを独立させるのではなく、地域にある様々なものと組み合わせた取組を実施することで、観光客の満足度が向上している。また、ピーターラビットを目的にした観光客、自然を目的とした観光客、文化を目的とした観光客など、それぞれ異なる目的を持った団体客だったとしても、全てのニーズを満たせるように工夫されている。

また、海外へのPR活動、観光集客は特徴的な方法で行っている。

海外で湖水地方へ誘客するイベントなどを行う場合、ピーターラビットが有効に働く国やエリアを選定してターゲットを絞り実施している。例えば、ピーターラビットのファンが多い日本、アメリカなど特定の国や地域で実施することにより、確実に観光客を確保している。

その他にも、特定の国を対象にした観光誘客兼寄付制度も実施していた。2010年の日本人を対象とする募金制度「ビジター・ペイバック・スキーム」では、5ポンド<sup>1</sup>の募金をすると、ピーターラビットのピンバッジと証明書をもらうことができ、制度開始の2010年以降、3万5千ポンドの募金が集まり、ピーターラビット関連施設の修理・修繕やウィンダミア湖周辺の整備事業に充てられた。

これにより、観光客は日本限定の特典を手に入れることができ、また、その寄付によっ

---

<sup>※2</sup> その企業、その商品・サービスだけが持ち、他社が提供できない価値

て湖水地方の利便性が向上していくため、現地でも快適に過ごすことができ、恒常的に観光客が増える仕組みとなった。これらの取組もあり、ロンドンから車で5時間程度かかる遠方の田舎町にも関わらず、訪英する日本人のうち、約1/4が湖水地方を訪れていると言われる。<sup>7</sup>

ビジター・ペイバック・スキームは現在(2023.11月時点)では実施していないものの、観光客を増やしながらか、地域の整備も行え、また観光客が増える好循環を生む効果的な取組だと言える。

これらの取組により、湖水地方では多くの観光客を集め続けており、図2のように2011年から2022年の湖水地方の観光客数は新型コロナウイルスの影響があった2020年を除き、3700万人を超えている。ピーターラビットのメディア放映は、アニメが2012年から2016年に放映され、映画が2018年、2021年に上映されている。図2のように、湖水地方の観光客数はメディア放映時期ではない2011年に4000万人を超えており、メディア放映時期である2012、2013年よりも多い。このことから、湖水地方ではメディア放映の影響を大きく受けずに観光客を集客していることがわかる。

これは、コンテンツだけに依存しない手法の実践や継続的に観光客を集め続けるための工夫をしているからであると考えられる。

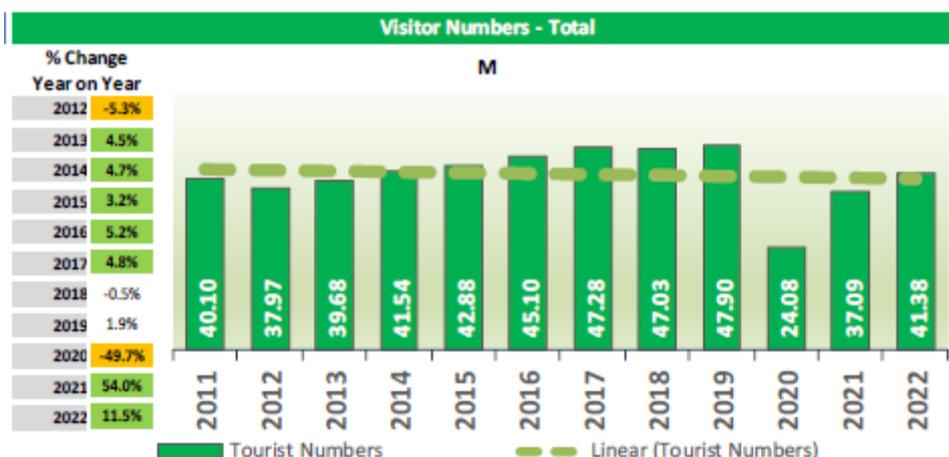


図2 湖水地方訪問者数  
(カンブリア観光局提供)

## (2) 調査事例2 ロンドン

ロンドンは、イギリスのイングランド東部、テムズ川河口近くに位置する都市で、人口約756万人のイギリスの首都である。ロンドンには大英博物館や、ウェストミンスター寺院、バッキンガム宮殿、ロンドン塔などの観光名所やミュージアムも数多くあり、1960年代以降クラシック音楽やミュージカル、ファッションをリードする街としても世界に知ら

れるようになった。

ロンドン、ロンドン近郊の町には世界で5億冊以上を売り上げた小説「ハリーポッター」シリーズの舞台となった場所や観光施設が多く存在する。ハリーポッターはイギリス出身の作家J・K・ローリングの作品で、1990年代のイギリスを舞台に、魔法使いの少年の物語を描いたファンタジー小説である。1997年に第1作「賢者の石」が発行され、2007年に発行された第7作「死の秘宝」で完結した。同シリーズは2001年から2011年にかけて映画化もされている。

世界中にファンの多い同シリーズはコンテンツ終了後も多くの観光客を集め続けており、ロンドン近郊の町ワトフォードにある「ワーナーブラザーズ スタジオツアーロンドン・メイキング・オブ・ハリーポッター」は、2012年の開業以来1700万人以上が来場している。当施設には、映画で使われたセットや小道具、衣装などが展示され、作中の世界観を体験できる施設となっている。

今回の調査では以下の2箇所を視察した。

#### ① キングスクロス駅

キングスクロス駅はロンドンの中心地に位置し、イギリスの主要ターミナルの一つである。当駅は作中で登場し、作中では9番線と10番線の間の柱を通り抜けることで、別世界の駅に移動することができる設定である。その設定を活かし、写真5のように作中で登場するカートの設備を設置し、観光客がそのシーンを体験できるようになっている。ここには平日の朝と夕方2度訪れたが、両時間帯ともに撮影待ちの観光客が常時20名程度並んでいた。写真撮影は常駐スタッフが行き、衣装の貸し出し、撮影ともに無料で行われていた。また、スタッフは撮影待ちで並んでいる観光客に対し、話しかける際には「hey、ポッター」



(ハリーポッターにおける主人公の名称) と言って会話を始めるなど、無料の施設でありながら観光客を楽しませつつ、その世界観に入り込ませる工夫をしていた。

施設や設備を作り、その世界観を各々楽しんでもらうだけではなく、スタッフの心がけ一つで、観光客の満足度は向上することを実感した。観光客の満足度が向上すれば、再訪の蓋然性も上がる。この場所のすぐ横にはハリーポッターグッズの販売店があり、体験・撮影が終了した観光客が買い物をしている様子が伺えた。観光客の増加が地域経済の潤いに直結すると言える。

キングスクロス駅  
(筆者撮影)

## ② レドンホールマーケット

約700年前から存在するマーケットで建物は重要文化建築物に指定されている。ここにはお土産屋や飲食店、衣料店など多くの店舗が立ち並び、作中でもショッピングのシーンでこの場所が登場した。ハリーポッターを強調した集客を行っている訳ではなかったが、ここに居るだけでハリーポッターの世界を体感でき、また、多くの店が立ち並ぶため、観光客はここで買い物などを行う。それにより、キングスクロス駅同様、観光客による地域経済の潤いが見込めることを実感した。



レドンホールマーケット  
(筆者撮影)

## 5. まとめ

今回の調査を通じて、コンテンツを活用し継続的に観光客を集め続ける手法を学ぶことができた。そこから、鳥取県でのコンテンツツーリズムについて、3点提案する。

### (1) 地域固有資源の活用

1点目は、地域の固有資源を活かしたコンテンツツーリズムである。湖水地方では、ピーターラビットを観光戦略の中心に位置づけているが、ピーターラビットだけを独立させた観光戦略を行うのではなく、地域に元々存在する自然や文化などをコンテンツと組み合わせることで多様な観光客のニーズをかなえ、継続的に観光客を集めている。そこで、鳥取県においてもコンテンツと地域固有の資源を活かした観光プランを提案する。

境港市は、全国有数の水揚量を誇り、令和3年の水揚量は全国6位である。また、ゲゲゲの鬼太郎に登場するキャラクター「ねずみ男」が釣りをしているシーンが作中にあり、ゲゲゲの鬼太郎と漁業をつなげることができると思う。そこで、盛んな漁業を活かし、釣りなどの漁業体験を行い、釣った魚を水木しげるロードの中で料理して食べられる場を作ること提案する。

近年のアウトドアブームから、釣り体験も人気を博しており、例えば、福岡県北九州市では市が主体となった釣り体験の仕組みを作り、多くの観光客を集めている。この人気のある釣り体験を国内屈指の漁港で行い、釣った魚を有名観光地である水木しげるロードで食べられる付加価値を加えることで、釣り目的、食事目的、水木しげるロード目的の観光

集客に効果があると考ええる。

また、北栄町はワインの産地として有名である。今回の調査において、同行視察したフランスのランス市では、ワイナリーの中にアート作品を展示することで、ワインとアートが楽しめる観光施設を作り上げていた。そこで、北栄町においてもワインとコンテンツを融合させ、ワイナリーの中に名探偵コナン関連のグッズを展示する、ワインと名探偵コナンのコラボレーション企画を実施するなど、名探偵コナン目的、ワイン目的の観光集客に効果があると考ええる。

## (2) 寄付制度

2点目は寄付制度である。湖水地方で実施していた「ビジター・ペイバック・スキーム」では、ツアー観光客が寄付希望すれば、寄付者に限定グッズを渡し、寄付金は観光施設等の地域の整備に充てるというものであった。

そこで、鳥取県においても同様の制度を導入し、海外からのツアー客から寄付を募る。また、国内旅行でも応用し、鳥取県に向かう公共交通機関、境港市や北栄町などのコンテンツツーリズムを推進する地域の宿泊施設に協力してもらい、寄付者に各コンテンツの限定グッズを贈る仕組みを作ることを提案する。

それにより、観光客の増加とともに地域の整備もできる持続性のある観光地になっていくと考える。

## (3) 空間づくり

3点目は、コンテンツの空間を体験する上での工夫である。コンテンツツーリストの再訪を促すためには、観光客の満足度を上げることが必要であり、そのためには空間を満喫してもらうことが重要である。ビアトリクス・ポターの世界では、ピーターラビットの着ぐるみがアフタヌーンティーを注いでくれたり、植物園でピーターラビットに登場する植物の匂いを嗅がせてくれたりなど、単純な施設見学に留まらない体験の提供を行っていた。

また、「キングスクロス駅」では観光客を「ポッター」と呼び、衣装を着せて撮影をしており、その空間に入り込み易い状況を作っていた。これらは施設や設備等を整備しただけでなく、その空間を体験し、満喫してもらうための工夫を加えることで、より良いものになっている例である。

そこで、鳥取県でもコンテンツの空間を体験してもらうための提案を行う。

水木しげるロードでは、夜間に妖怪の影絵を投影する取組を行っているが、それに加えて夜間に妖怪の着ぐるみが出没するなど、更に夜間にまちでゲゲゲの鬼太郎の雰囲気を感じられる空間づくりをすることを提案する。夜間に行う理由は妖怪のまちづくりにおいて、夜間と妖怪の親和性が高いことと、境港市における都道府県外の夜間滞在人口を増やすためである。

RESAS<sup>8</sup>の滞在人口の地域別構成割合によると、日中と夜間で県外者の滞在人口に大きく差がある。図3、4は2023年5月の休日における滞在人口のグラフであり、14時時点では

7,399人の滞在人口が、20時には2,631人へと5,000人近く減少している。地域経済を良くするためには宿泊者を増やし、お金を落としてもらうことが重要であるが、境港市においては観光客が市外で宿泊していることが推察できる。そこで、夜間にゲゲゲの鬼太郎の雰囲気を感じられる空間づくりをすることで、観光客の満足度をあげつつ、境港市での夜間滞在を促し、宿泊にもつなげることができると考える。

また、北栄町においては、名探偵コナンの作中に登場する衣装、探偵道具等の機器類を使ったまちでの謎解きの実施や、各施設でのスタッフの育成など、コンテンツの体験を満喫できる空間づくりを提案する。

これらにより、観光中の満足度が向上し、再訪の蓋然性も上がると考える。

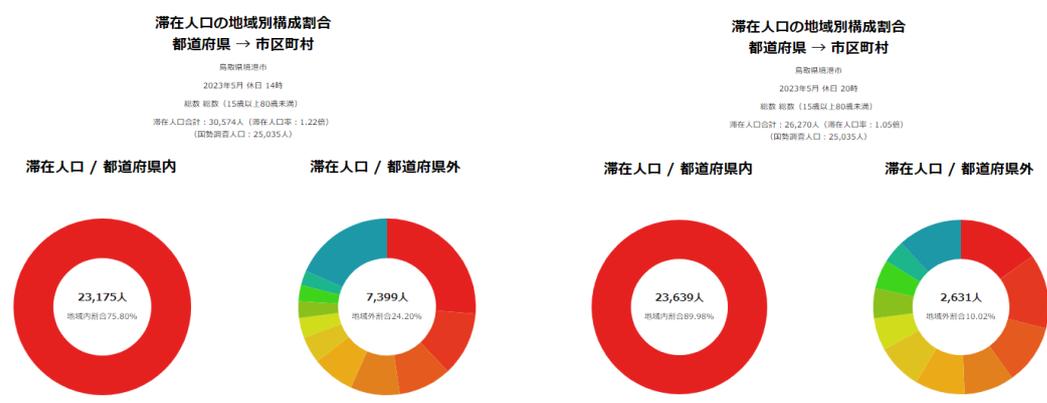


図3 境港市 2023年5月の休日14時における滞在人口の地域別構成割合 (RESASより引用)

図4 境港市 2023年5月の休日20時における滞在人口の地域別構成割合 (RESASより引用)

## 6. おわりに

今回の調査では、世界的に有名なコンテンツツーリズムの先進地において、観光客を集め続けるために重要となる手法を学ぶことができた。

また、手法の他にもスタッフ達が観光客に満足してもらうために様々な工夫をして迎えていることも感じる事ができた。

世界に誇るコンテンツを有する鳥取県として、今回の学びを活かし、コンテンツツーリズムの先進地としても世界に誇れるよう事業に取り組んでいきたいと考えている。

最後に、本調査にあたり視察調査にご協力いただいた各視察先の皆さま、貴重な学びの機会を提供いただいた一般財団法人地域活性化センター、派遣元の鳥取県にこの場を借りてお礼申し上げます。

## 7. 参考文献・参考資料

- <sup>1</sup> 国土交通省 観光産業の強化 p73 <https://www.mlit.go.jp/common/001006709.pdf>
- <sup>2</sup> 観光庁 観光立国推進基本計画(2023年3月31日閣議決定)p3  
<https://www.mlit.go.jp/kankocho/content/001597357.pdf>
- <sup>3</sup> 内閣府 交流人口拡大で地域経済活性化 2)「ニューツーリズム」に期待がかかる地域  
経済 [https://www5.cao.go.jp/j-j/cr/cr08/chr08\\_3-2-2.html](https://www5.cao.go.jp/j-j/cr/cr08/chr08_3-2-2.html)
- <sup>4</sup> 厚生労働省 ニュー・ツーリズム研究 p23  
<https://www.mhlw.go.jp/content/11600000/000815843.pdf>
- <sup>5</sup> 菊地 映輝氏 コンテンツツーリズムの持続可能性を考える(2017年)p14, 15  
<https://www.glocom.ac.jp/wp-content/uploads/2017/12/%E5%8C%97%E6%B5%B7%E9%81%93%E8%87%AA%E6%B2%BB%E4%BD%93%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E3%83%8B%E3%83%A5%E3%83%BC%E3%82%B9%E3%83%AC%E3%82%BF%E3%83%BC81%E5%8F%B7%EF%BC%88%E8%8F%8A%E5%9C%B0%E6%98%A0%E8%BC%9D%EF%BC%89.pdf>
- <sup>6</sup> 公益財団法人さいたま緑のトラスト協会 イギリスのナショナルトラストの歴史  
<http://saitama-greenerytrust.com/about/history/england>
- <sup>7</sup> 宮崎 裕二氏 コンテンツツーリズムにおけるキャラクターを活用した持続的な観光地  
づくり(2016年)p2, 8  
[https://www.jstage.jst.go.jp/article/contentstourism/3/0/3\\_2/\\_pdf/-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/article/contentstourism/3/0/3_2/_pdf/-char/ja)
- <sup>8</sup> 経済産業省地域経済産業調査室 RESAS(地位経済分析システム)  
<https://resas.go.jp/#/31/31372>